

売れなかった牛の話

「なんで売るのが？」



こうすけ

森川放牧畜産

森川放牧畜産を 活動を応援する方法

- ①民泊（長崎県西海市）
- ②お肉の購入（BASEより）
- ③支援する（BASEより）
- ④祈土の購入（BASEより）

＼応援はこちらから／



Instagram：
morikawachikusan

活動場所：
長崎県西海市

連絡先：
morikawachikusan.shop@gmail.com

お金がなかった頃、足腰の弱い、安い牛を迎えました。名前は、こうすけ。メスでした。強い牛は買えなかった。けれど、来た命を断りませんでした。こうすけは、ゆっくり生きました。何度もお産をし、立派な子牛を産んでくれました。弱いと思っていた身体で、命をつなぎ続けました。それでも現実は厳しく、資金が足りず、市場へ三度連れて行きました。子どもたちは泣きました。「なんで売の」と。三度とも、誰も買いませんでした。数字で測る世界では、こうすけに値はつきませんでした。牛舎へ連れて帰り、家族で決めました。ここで、死ぬまで面倒をみよう。

そして、そのあともなく、命は止まりました。子どもたちは号泣しました。けれど、その涙の中で命の重さと、つながるということを知りました。数字で測れば、売れない牛でした。けれど、家族の中では、かけがえない存在でした。値がつかなかった命が、子どもたちの心に、一生消えないものを残しました。命は、価格では決まらない。弱さは、価値の低さではない。あの日生まれた小さな命も、あの日流れた涙も、いまでも家族の中で生きています。

そして、
こうすけも、ずっと生きています。